

2019～2020年度
東松山むさしロータリークラブ
会長 前原 利雄



「それぞれの花を大きく咲かせましょう！」

第26代会長を務めさせていただきます。一年間宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度は我が国にとっても、また当クラブにとっても大変大きな節目の時を迎えております。

先ず国内では、5月1日に新帝陛下が御即位され、同時にこれまでの「平成」から新しい元号「令和」の時代が始まりました。

新しい元号「令和」の出典は、日本最古の歌集『万葉集』の「梅花の歌」序文の一節（初春令月 気淑風和）からで、厳寒の後に春の訪れを告げて咲く梅花と日本人とを重ね、「一人一人の日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いが込められているそうです。

次に当クラブは、創立満25周年を迎えました。創立以来四半世紀、チャーターメンバーをはじめ歴代の会長・幹事を中心に、今日まで多くの会員が共に語り合い、親睦を深め、様々な活動を積み重ねてこられました。

そこで、今年度は、当クラブの歴史・歩みを顧み先輩諸兄の熱き思いを受継ぎ、「令和」の時代に相応しい新たな東松山むさしロータリークラブの歴史を刻むスタートの年に致したいと存じます。

2019-2020年度国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー氏のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。そして、このテーマを受け当2570地区ガバナー鈴木秀憲氏の地区テーマもまた「未来へつなぐ」「変える（基本に戻る）」とされました。

R I 会長・2570地区ガバナーそれぞれのテーマをもとに、多様性を認めつつ、自分自身と自身の職業を磨き、地域への奉仕・社会貢献に努めるとともに、様々な人々との交流・親睦を深め、会員それぞれの花を大きく咲かせましょう。

今期 山下茂幹事をはじめ、役員理事、事務局ともに心一つに力を合わせて、会員の思いに応えられるよう、多彩な楽しく充実した例会・事業を心がけてまいります。会員皆様には、これまで同様変わらぬご理解・ご指導・ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。